

答えて市長！一般質問

前ページから続き

新庁舎建設へ55億8300万円の  
市税投入は再検討すべき

齋藤 詔治

問 新庁舎建設総費用が、55億8300万円、当初計画より15億円も上回る。建設地及び建築手法の見直し(3階建を平屋建にし、計画地に建設なら、建物規模の縮小)を図るべき。  
答市長 財政的にも決して余裕のある状況ではありません。工事単価等について省けるものは省けと指示をし、事業費の抑制に努めて参ります。

市民誰もが健康で生き生き  
生活するための事業を

遠藤 義法

問 健康づくりに保健・予防事業の強化が求められている。課題と推進策は。②産科のある総合病院の建設、誘致の考えは。③高齢者、障がいを持つ方々が外出できる交通網を整備すべき。  
答市長 生活習慣病が重症化し、脳血管疾患、腎不全などがひき起こされる。保健師を中心に予防策に取り組んでいる。②は、吉川松伏医師会と協議し、検討していく。③は、利用実態や移動ニーズ調査を実施した上で利用促進策を検討していく。

介護保険制度改定、  
サービス低下と負担増の心配が

高野 昇

問 介護保険制度改定では、要支援1・2の訪問・通所介護を市町村事業に移すとされている。利用者へのサービス低下と負担増、事業所の減収、自治体の費用増加などが懸念されるが。  
答健康福祉部長 新事業では既存の訪問・通所サービスを既存の事業所で利用できるほか、生活支援サービスやミニデイサービスなど多様なサービスが利用可能との案が示されています。総合事業に移行するに当たって事業費全体が国から確保できない場合、事業量の圧縮や安価な方に向けてゆく、場合によっては市費の投入が懸念されます。

新庁舎建設費 抑制めざせ

伊藤 正勝

問 新庁舎は実施設計に入る。総経費は55億円余。これまでの積算を大幅に上回る。軟弱地盤、諸経費、消費税一色々あるが限度額を設けてはどうか。市民と共に歩むため早期に利・活用の委員会の発足。議場などの思い切った開放。竣工時は市政20周年の節目。隣接自治体と共催のマラソン。市民と一体の各種イベントやみどりの整備、市民交流。「チャームアップ大作戦」を展開してはどうか。リーダーシップを期待し提案したい。  
答市長 庁舎は基本的に行政機能の拠点であり防災の拠点。多目的活動のスペースの確保など市民要望に沿い愛着のもてる庁舎をめざしたい。  
答総務部長 建設費縮減はめざすが状況は変化。限度額設けることは困難。基金、地方債、国の補助金活用にも工夫。現庁舎の売却金は4億円を見込む。市民委員会設置は考えていない。



昨年の台風26号では、市内各所が冠水

ゲリラ豪雨対策、「100  
ミリ/h安心プラン」に登録を

加藤 克明

問 昨年、国土交通省が創設した「100ミリ/h安心プラン」その概要と流れについて。  
答都市建設部長 行政と住民や民間企業など参画のもと、河川や下水道のハード面、避難行動

を支援するソフト面の対策を行い浸水被害などの軽減を図る計画。国・県・市の河川管理者、下水道管理者と住民や企業などで協議会を設置。計画策定後、国へ申請・登録を行い、社会資本整備総合交付金などの支援を受けながら事業展開していく計画。  
問 考えられる活用は。  
答都市建設部長 懸案となつている貯留施設の設置や河川改修などが考えられる。  
問 今後、活用する考えはあるか。  
答都市建設部長 貯留施設や調整池については、膨大な費用がかかる見込み、その財源の確保が問題。また関連する法定計画との整合性を図る事が必要。国や県、お互いの事業のタイミングをはかり機会を見て調整していく。



◆除雪基本計画の作成  
問 本年2月中に二度大雪に見舞われました。市の責務・市民の責務・勧告及び禁止、除雪への対応マニュアル作成の考えは。  
答市長 平成26年度に地域防災計画の改定に合わせて除雪活動計画等を定めてまいります。

◆吉川美南駅東口周辺土地利用計画並びに事業計画案の再々検討  
問 昨年9月実施のアンケートに基づく土地利用計画の再検討及び市負担金48億円の負担額を最小限にすべきです。  
答市長 当市施工による事業計画案は、賛成の意向が示されました。今後当市負担の軽減に取り組んで参ります。

◆公共施設等の長寿命化策と財源措置は  
問 橋梁や公共施設等の長寿命化のため、点検、維持補修を定期的に実施する必要があります。①公共施設、橋梁、道路の現状把握の取組みと修繕、補修の実施計画は。②財源確保策と具体的事業実施策は。  
答政策室長 公共施設全体を把握するため、データの収集をはじめた。マネージメント基本方針を策定し、公共施設等管理計画と具体化を図っていく。財源が大事で、改修を目的とした基金の設置などを検討していく。

◆非婚ひとり親世帯に寡婦控除みなし適用を  
問 経済的負担の軽減や子育て支援のため、実施する自治体が増えている。吉川でも実施を。  
答市長 税法改正が先決であり現在実施する考えはないが県内の動向を注視してゆきます。

◆下八間堀悪水路安全対策を  
問 早急な安全対策を。  
答都市建設部長 水路管理者の旭土地改良区へ要望を伝えます。

稲垣茂行議員(市民改革クラブ)  
軽率な行為で謝罪

◆本定例会において、次のような発言の申し入れがあり、許可されました◆

本定例会期間中、女性職員の肩に「セクハラ、セクハラ」と言いながら手を触れ、相手に不快感を抱かせる結果を招きました。軽率な行為であり、ご本人をはじめ、その場に居合わせた職員のみならずにも不快の念を感じさせたことは、わたくしの不徳の致すところで認識の甘さを深く反省いたします。

ご本人をはじめ職員のみなさまに対し、お詫び申し上げます。また、議員各位に対しましても、ご迷惑、ご心配をおかけし誠に申し訳ございません。今回のことは議会開会中、衆人監視の会議室でのことであり、ご指摘いただいた事態を厳しく受け止め、今後言動には十分注意してまいります。重ねてお詫びを申し上げます。